

令和 5 年度

事 業 報 告 書

自：令和 5 年 4 月 1 日

至：令和 6 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

目 次

I 事業概要	1
II 事業の実施状況	1
1 助成事業（公1事業）	1
(1) 研究助成事業	1
(2) シンポジウム開催等助成事業	2
(3) 奨学助成事業	2
2 情報提供事業（公3事業）	2
(1) ホームページによる情報提供	2
(2) 研究成果報告書の発刊	3
3 調査研究事業（公2事業）	3
(1) 受託事業	3
III 管理運営業務	3
1 会議の開催	3
2 令和5年度主要業務	3
IV 組織	3
V 附属明細書	3

(資料)

別紙1 平成5年度（第30回）研究助成金交付対象者	… 4
別紙2 令和6年度（第31回）研究助成金交付対象者	… 5
別紙3 平成5年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	… 6
別紙4 令和6年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	… 7
別紙5 日本食品化学研究振興財団ホームページ 主なコンテンツ	… 8
別紙6 令和5年度主要事業記録	… 9
別紙7 組織	… 10

令和 5 年度 事業報告書

I 事業概要

- ・ 令和 5 年度の助成事業については、令和 4 年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、海外から日本への留学に係る奨学助成事業を実施した。
- ・ 情報提供事業については、食品添加物や残留農薬等食品化学に関する主に規制情報の収集とホームページ上での提供を令和 4 年度に引き続き実施した。
- ・ 調査研究事業については、令和 4 年度は内閣府食品安全委員会の「食品添加物の海外の評価結果等に関する情報収集及び調査」を実施したが、令和 5 年度は調査の受託はなかった。
- ・ 令和 5 年度の新型コロナウィルス感染症の 5 類感染症移行後も、理事会等でウェブ会議システムを引き続き活用すること等により事業の効率化を図った。

II 事業の実施状況

1 助成事業（公 1 事業）

(1) 研究助成事業

1) 令和 5 年度研究助成

- ・ 令和 5 年 3 月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象 14 件に対して、同年 5 月、研究助成金（総額 1500 万円）を交付した。
(交付対象者及び助成額は「別紙 1」のとおり)

2) 令和 6 年度研究助成選考

① 募集公告

- ・ 令和 5 年 9 月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある学会誌（日本食品化学学会誌等 7 誌）及び関係学会（日本食品化学学会他 10 学会等）のホームページに当該募集公告の掲載を依頼するとともに、令和 5 年 10 月に財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

② 研究課題

- ・ 令和 5 年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）に分けて助成申請の募集を行った。

③ 申請受付

- ・ 令和 5 年 11 月 15 日～令和 6 年 1 月 15 日の 2 か月間、助成申請を募集し、37 件（一般研究 18 件、課題研究 19 件）の申請を受理した。

④ 選考委員会審査

- ・ 令和 6 年 3 月 5 日開催の第 33 回選考委員会において審査を行い、一般研究 10 件、課題研究 6 件の助成金交付対象者を選考した。

⑤ 理事会決定

- ・令和6年3月11日開催の第61回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、16件（総額1,500万円）¹の研究助成金交付を決定した。
(交付対象者及び助成額は「別紙2」のとおり)

(2) シンポジウム開催等助成事業

1) 令和5年度前期（令和5年4月～令和5年9月）

- ・令和5年度研究助成と並行して、令和5年度前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、令和5年4月、2件に助成金（総額105万円）を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

2) 令和5年度後期（令和5年10月～令和6年3月）

- ・令和5年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。
- ・令和5年7月1日～7月31日の間募集を行い、令和5年9月7日開催の第32回選考委員会で選考を行い、9月25日開催の第60回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、1件に助成金（総額37.5万円）を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

3) 令和6年度前期（令和6年4月～9月）

- ・令和6年度研究助成と並行して、令和6年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、2件（70万円）の助成を決定した。

(交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり)

(3) 奨学助成事業

1) 令和5年度

- ・海外から日本への留学生1名から申請があった。令和4年12月5日に開催された第30回選考委員会でこの1名を選考し、12月16日開催の第56回臨時理事会でこの1名について助成（80万円）を決定した。

2) 令和6年度

- ・令和5年9月15日～10月31日の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係学会等ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行った。しかしながら、応募申請はなかった。

2 情報提供事業（公3事業）

(1) ホームページによる情報提供 (<https://www.ffcr.or.jp/>)

¹ 交付決定後に、助成辞退が1件あった。

- ・令和 5 年度に行われた、食品添加物の指定（2 品目）、使用基準改正（2 品目）、農薬等の食品中残留基準値の改正（農薬等の追加、削除含め 62 品目）などの最新の行政施策をホームページに反映させるとともに、情報提供を一層充実させるため、掲載内容の更新を継続して実施した。
- ・ホームページへの内容等に関する利用者からのメールでの照会（202 件）に対応した。
- ・ホームページの掲載情報の概要は「別紙 5」のとおりである。

（2）研究成果報告書の発刊

- ・令和 4 年度の研究助成対象者から提出された研究報告書を取りまとめた「日本食品化学研究振興財団第 29 回（令和 4 年度）研究成果報告書」を令和 5 年 12 月 25 日刊行し、当該研究者をはじめ、厚生労働省、国立医薬品食品衛生研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

3 調査研究事業（公 2 事業）

（1）受託事業

- ・令和 5 年度は、受託はなかった。

III 管理運営業務

1 会議の開催

- ・理 事 会 4 回 （定時理事会 2 回、臨時理事会 2 回）
- ・評 議 員 会 1 回 （定時評議員会 1 回）
- ・選 考 委 員 会 2 回

2 令和 5 年度主要事業

令和 5 年度の主要事業については、「別紙 6 令和 5 年度主要事業記録」のとおりである。

IV 組 織

- ・令和 5 年 4 月 24 日理事会で任期満了に伴う役員及び評議員候補者が選定された
- ・令和 5 年 6 月 1 日評議員会で理事 4 名の退任、新たに 4 名が選任された。また、評議員 3 名が退任し、新たに 3 名が選任された。
- ・令和 5 年 6 月 13 日理事会で代表理事 2 名が選任された。
- ・令和 5 年度末における本財団の組織については、「別紙 7」のとおりである。

V 附属明細書

- ・「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

（以上）

令和5年度(第30回) 研究助成金交付対象者

1:一般研究

番号	交付対象者(敬称略)	研究課題	助成額(万円)
1	立命館大学 薬学部 坂口 裕子	線虫の多層化オミクス解析を用いた食品添加物の安全性評価	130
2	中部大学 応用生物学部 津田 孝範	食品添加物「乳酸」の新たな視点 ～乳酸の経口摂取、運動併用による認知機能低下予防作用の解明～	80
3	星葉科大学 薬品分析化学研究室 梶山 浩	食品中の残留高極性農薬の半自動同時分析法の開発に関する研究	140
4	和歌山県立医科大学 薬学部 長野 一也	適切な健康影響評価系の構築を目指した、経口曝露後の銀ナノ粒子の存在様式変化を踏まえた体内動態解析	100
5	長崎大学 生命医科学域 松尾 洋介	pHによる紅茶の色調変化機構の解析	110
6	国立医薬品食品衛生研究所 食品部 堤 智昭	固相マイクロ抽出法を用いた加工食品中のフラン及びその類縁体の分析法の開発	100
7	岐阜薬科大学 薬品分析化学研究室 高須 蒼生	天然由来糖類似甘味成分イミノ糖の新たな供給法としての酵素処理法の研究	50

一般研究 7件 710万円

2:課題研究

8	山梨大学大学院 総合研究部 生命環境学域 石山 詩織	胚環境操作マウスおよび難消化性オリゴ糖を用いた食品添加物の安全性・有効性の評価系構築	140
9	岡山県立大学 保健福祉学部 伊東 秀之	既存添加物収載タンニン(抽出物)の機能性代謝物の探索	120
10	東北大学大学院 薬学研究科 平田 祐介	食品香料成分フェネチルアミンの体内動態および新規効能の解析	140
11	北海道大学大学院 薬学研究院 佐藤 夕紀	ヒアルロン酸オリゴ糖の簡易微量定量法の確立と体内動態特性の解析	90
12	東京薬科大学 内分泌薬理学教室 吉江 幹浩	デュアルスピリットバイオセンサーを活用した胎盤形成に不可欠な栄養膜細胞の分化・融合に対する食品添加物の作用評価	100
13	神戸大学大学院 農学研究科 芦田 均	体内動態を考慮したミリシトリン含有ヤマモモシクロデキストリン包接体の生体調節機能について	100
14	東京理科大学 薬学部 米野 雅大	ビタミン系酸化防止剤が脳血管糖衣に及ぼす影響と効果に関する研究	100

課題研究 7件 790万円

合計 14件 1500万円

令和6年度(第31回) 研究助成金交付対象者

1:一般研究

番号	交付対象者(敬称略)	研究課題	助成額(万円)
1	北海道大学 工学研究院 Li Feng	食品添加物を安全な触媒として用いた生分解性高分子材料の合成法開発	80
2	中部大学 応用生物学部 津田 孝範	食品添加物「乳酸」の新たな視点 ～乳酸の経口摂取、運動併用による認知機能向上作用の解明～	80
3	国立医薬品食品衛生研究所 食品部 志田 静夏	自動前処理装置を用いた食品中ピロリジジンアルカロイド類の高感度分析法の開発	100
4	京都大学大学院 農学研究科 松居 翔	母獣のD-tagatose摂取による子孫のエピジェネティクス変動の解明	80
5	松山大学 薬学部 天倉 吉章	食品添加物の品質評価における高分子量縮合型タンニン標準品調製に関する基礎検討	100
6	和歌山県立医科大学 薬学部 長野 一也	適切な健康影響評価系の構築を目指した、経口曝露後の銀ナノ粒子の存在様式変化を踏まえた体内動態解析	100
7	広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野 神沼 修	味覚用食品添加物による免疫調節機能	100
8	大阪大学大学院 理学研究科 船橋 靖博	ヒトの腸内で働く添加剤による抗酸化物質の酸化防止と栄養強化	80
9	農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部 高度分析研究センター 中川 博之	アワノメイガ幼虫糞からの <i>Fusarium</i> 属糸状菌の分離とマイコトキシン汚染拡散機構の解明	80
10	国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 辻 巍一郎	食品添加物の定量評価のためのシングルリファレンス化合物のデザイン研究	80

一般研究10件 880万円

2:課題研究

11	岡山県立大学 保健福祉学部 伊東 秀之	既存添加物収載タンニン(抽出物)の機能性代謝物の探索	120
12	京都大学大学院 農学研究科 真鍋 祐樹	哺乳動物体内におけるカロテノイド異性化反応の探求	120
13	北海道大学大学院 薬学研究院 佐藤 夕紀	ヒアルロン酸オリゴ糖の同時定量法による体内動態特性の解析と小腸免疫系への関与	120
14	東京大学大学院 農学生命科学研究科 永田 宏次	食品添加物(酸化防止剤)の没食子酸プロピルが細菌・酵母・ヒトの細胞に与える影響の解析	100
15	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 秦 隆志	ファインバブルを用いた新規フレーバー成分抽出手法に関する研究	80

*交付対象者名、研究課題名及び助成額は
辞退分1件を除いています

課題研究 6件 620万円
合 計 16件 1500万円

令和5年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

番号	主催者及び申請者(敬称略)	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額(万円)
1	日本食品化学学会 富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 東田 千尋	日本食品化学学会 第29回総会・学術大会	80
2	(公社)日本食品衛生学会 実行委員長 秋葉 高司	2023年度日本食品衛生学会公開シンポジウム 「食中毒の季節にそなえる」	25

合 計 105万円

(後期)

番号	主催者及び申請者(敬称略)	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額(万円)
3	(一社)日本毒性病理学会 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 病理部 部長 小川 久美子	第40回日本毒性病理学会総会及び学術集会 我々はもうなんでも知っているのか? まだまだ広がる病理の世界	37.5

小 計 37.5万円
合 計 142.5万円

令和6年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

番号	主催者及び申請者(敬称略)	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
1	日本食品化学学会 国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 部長 杉本 直樹	日本食品化学学会 第30回総会・学術大会	50
2	岐阜薬科大学 講師 立松 憲次郎	日本脂質栄養学会 第33回大会	20

合 計 70万円

日本食品化学研究振興財団ホームページ (<https://www.ffcr.or.jp/>) 主なコンテンツ

(1) 食品添加物 関係情報

①リスト類

指定添加物リスト[日・英]、既存添加物リスト[日・英]、天然香料基原物質リスト
[日・英]、使用基準一覧[日・英]、指定添加物・既存添加物検索のための一覧表 等

②食品添加物の規格基準

食品添加物公定書[日(第10版)・英(第9版)] (厚労省、国立衛研へリンク)

③新食品添加物の指定

指定及び使用基準改正に関する指針[日・英]、指定等要請資料作成の手引き[日・英] 等

④食品添加物の安全性

JECFAによる安全性評価、既存添加物の安全性評価[日・英]、食品添加物一日摂取量
調査 等 (厚労省、国立衛研、JECFAへリンク)

⑤食品添加物の表示 (消費者庁へリンク)

(2) 残留農薬 関係情報

①残留農薬ポジティブリスト制度

- ・ポジティブリスト制度について[日・英]
- ・食品に残留する農薬等の限度値一覧表 <食品名、農薬名から検索可能> [日・英]
- ・抗生物質・合成抗菌剤、対象外物質一覧、分析試験法[日・英] 等

② 食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果

(3) 研究助成成果報告

第5回(平成11年度) 助成分以降の全ての助成課題の和文抄録

第8回(平成14年度) 助成分以降の全ての助成課題の英文抄録

(4) 厚生労働省食品化学情報

食品化学に関する主要行政通知を掲載(昭和43年以降)

(5) 食品安全委員会情報

食品添加物評価書一覧等(食品安全委員会へリンク)

令和5年度主要事業記録

年月日	主　要　事　業　記　録
令和5年4月24日	第58回定期理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）<ウェブ出席あり> • 令和4年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 • 任期満了に伴う役員及び評議員候補者の選定に関する件 • 代表理事職務執行状況の報告、他
令和5年5月22日	第30回研究助成金贈呈式（於：リーガロイヤルホテル）
令和5年6月1日	第16回定期評議員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）<ウェブ出席あり> • 令和4年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 • 任期満了に伴う役員及び評議員の選任に関する件
令和5年6月13日	第59回臨時理事会（書面表決） • 代表理事（理事長・専務理事）の選任に関する件
令和5年7月1日	令和5年度（後期）シンポジウム開催等助成申請の受付開始（7月31日まで）
令和5年9月7日	第32回選考委員会（書面表決） • 令和5年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選考に関する件 • シンポジウム開催等助成募集要項等における助成額に関する記載の修正・統合に関する件
令和5年9月15日	令和6年度奨学助成申請の受付開始（10月31日まで）
令和5年9月25日	第60回臨時理事会（書面表決） • 令和5年度（後期）シンポジウム開催等助成金交付対象者の決定に関する件
令和5年11月15日	令和6年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付開始 （令和6年1月15日まで）
令和5年12月25日	研究成果報告書（第29回・令和4年度）刊行
令和6年3月5日	第33回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）<ウェブ出席あり> • 令和6年度研究助成対象及び令和6年度（前期）シンポジウム開催等助成対象の選考に関する件、他
令和6年3月11日	第61回定期理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社）<ウェブ出席あり> • 令和6年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 • 令和6年度役員報酬に関する件 • 令和6年度研究助成対象及び令和6年度（前期）シンポジウム開催助成対象の決定に関する件 • 任期満了に伴う選考委員の改選 • 代表理事職務執行状況の報告、他

組 織

令和6年3月31日現在

1 役 員

理 事 長	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役社長
専務理事	伏見 環	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理 事	梶山 浩	星薬科大学 薬学部 教授
"	神崎 浩	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域(農学系) 教授
"	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役会長
"	清水 玲子	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役
"	堤 康央	大阪大学大学院 薬学研究科 教授
"	中垣 俊郎	一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 理事長
"	鍋谷 浩志	東京家政大学 栄養学部栄養学科 学科長・教授
"	西川 淳一	武庫川女子大学 薬学部 教授
"	松村 康生	京都大学生存圏研究所 生存圏開発創成研究系 特任教授
監 事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
"	妙中 茂樹	妙中公認会計士事務所 公認会計士

2 評議員

辻川 和丈	大阪大学大学院 薬学研究科 教授
中江 大	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 教授
成田 昌稔	公益社団法人 東京医薬品工業協会 理事長
西野 雅之	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員
松浦 壽喜	武庫川女子大学 食物栄養科学部 教授
松藤 寛	日本大学 生物資源科学部 教授
森本 隆司	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 検査部 部長

3 選考委員

伊藤 美千穂	国立医薬品食品衛生研究所 生薬部 部長
今井田 克己	香川大学 教育戦略室 特命教授
梅村 隆志	ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科 教授
小関 良宏	東京農工大学 名誉教授
合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 名誉所長
近藤 恵美子	厚生労働省健康・生活衛生局 食品基準審査課長
高野 伊知郎	明治薬科大学 薬学部 特任教授
谷 史人	京都大学大学院 農学研究科 教授
堤 康央	大阪大学大学院 薬学研究科 教授
船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員

4 事 務 局

長谷川 弘和	事務局長
中村 明淑	
旭 雅代	
同東京分室	鵜狩 真理子